

杉並区長 田中 良 殿  
杉並区教育委員会 教育長 白石 高士 殿

## 生理用品の無料提供を求める申し入れ

2021年3月31日  
日本共産党杉並区議団

世界各国で、生理用品を買うことができない、使用できないなど「生理の貧困」が問題となっています。この問題は、日本も無関係ではなく、任意団体が行ったオンラインアンケート調査では、5人に1人の若者が金銭的な理由で生理用品を買うのに苦勞した、他の物で代用しているとの結果が出ています。また、貧困で購入できないだけでなく、ネグレクトにより親等から生理用品を買ってもらえない子どもたちがいるとの指摘もあります。

「生理の貧困」解消のために、スコットランドでは、生理用品を無償で提供する法案が可決されました。フランス、ニュージーランド等でも同様の動きがあります。

日本でも、政府が新型コロナウイルスに対応するための予備費を活用し、経済的な理由で生理用品が買えない女性への対策を進めることを決定しました。

すでに、豊島区や中野区など都内のいくつかの自治体では、災害備蓄用の生理用品を活用し、必要な方への配布が始まっています。杉並区においても、生活相談のなかで、希望する人に災害備蓄用の生理用品の提供を始めたとのことですが、対象も規模も極めて限定的です。必要とされている方が受け取れるよう、下記の通り要望します。

### 記

1. 生活困窮等の理由で生理用品を購入することが困難な女性に対し、区役所や区立施設で無料で配布すること。その際、窓口でのカード提示、ネット申請等でも受け取れる仕組みも作ること。
2. 小中学校や区立施設のトイレに生理用品を常備すること。
3. 子ども食堂やフードバンク等の支援団体と連携し、より多くの困窮女性に生理用品を無料で提供すること。

以上